



## 民生文教委員会



こども誰でも通園制度のリーフレット(抜粋)



詳しくはこちらから

**袋井市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について**

**問** こども誰でも通園制度の創設に伴い、各園の運営については、子どもたちにとっては急激な環境変化に置かれ、保育をする側も受ける側も大変な状況にあるのではないかと思われる。今年度から事業を開始した中での現状を把握しているか。また、事故防止に向けた園での取組を把握しているか。

**答** 公立園は笠原こども園の1園で、民間園は10園で事業をスタートした。申請状況としては、5月末時点で、37世帯、42名の児童が利用申請を

しており、民間園の3園で、延べ人数で7名の児童が既に利用している状況である。初めは保護者が保育に立ち会い、徐々に保護者との分離を図っていくというように、丁寧に実施していることもあり、現状、特段困っているという声は聞いていない。また、事故防止に向けての取組については、事前面談で、家族の状況や緊急連絡先、アレルギーの情報や病歴、発達の状況などを丁寧に聞き取っている。事業を実施する民間園10園および笠原こども園については、既存の保育指針などを遵守した中で進められており、聞き取りを行う中では、特段困っていることはない。

## 建設経済委員会



柳原雨水ポンプ場整備状況(放流渠)

**袋井市水道事業給水条例の一部改正について**

**問** 災害時に、他市町村で指定を受けた工事業者が工事を行った際に発生したトラブルはどのように対応していくのか。

**答** 工事業者と個人でトラブルが発生した場合に、基本的には両者間で解決をしていただくことになる。通常、トラブルはあまり発生しないが、万一、技術的なトラブルが発生した場合は、必要に応じて対応してまいりたい。

**建設工事委託に関する協定の締結について**

**問** 共同企業体に市内4事業者が参画可能であるとの説明があったが、地元企業が参入しやすい条件のもとでこの4事業者となったのか。また、自治体の技術職員不足や大きな事業の経験者が少なくなっているなかで日本下水道事業団からの技術支援はあるか。

**答** 事業費が多額な大規模調達事業ということで、共同企業体への参画についても経営事項審査の点数が高くなるが、日本下水道事業団に対しては市から要請し、地元企業については条件の緩和を行っていたにしている。また、この工事については注目度が高いため、工事発注の段階で技術職員や地元住民が工事途中を見学できる工事見学会を要請している。技術職員が経験したことのない工法を目の当たりにするチャンスとして捉えて技術の継承に努めてまいりたい。